

令和8年3月27日

上大岡ゆう保育園

## 令和7年度 保育園自己評価表

保育園に求められる質の高い保育は、保育者それぞれの人間性や専門性に関わってくる。

そのために常に向上することの意識をもつことは、とても大切なことである。

日々の保育に追われなかなか振り返りや見直しができない中、自己評価を通して保育の専門性を見つめる機会とし、評価をすることで次に取り組む課題を見つける機会とする。

【できていること】【できいないができること】【できないこと】を見出し、できないことをできるようにするにはどうしたら良いかなど、有意義な話し合いができるように努めていく。

評価は基準によって評価欄に◎・○・△・× を記入する	
◎	十分理解している（十分できている）
○	理解している（ほぼできている）
△	あまり理解できていない（やや不十分である）
×	不十分である（できていない）

### 1) 法人理念・保育方針・保育目標・評価

内 容	評 価
法人理念・保育方針・保育目標を理解し、保育過程を立てている	○
保育過程に基づいた具体的な指導計画を作成している	◎
多様な保育需要に対して、地域や保育所の特性を考慮した計画作成をしている	○
各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり、個々の発達にも留意したものを作成している	◎
保育士は、自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている	◎

### 2) 保育内容

内 容	評 価
子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮して保育を行っている	◎
評価結果をもとに、保育の改善に努めている	○
子どもの気持ちを理解して信頼関係を築いている	◎
一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行うように努めている	◎
子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している	○

子どもが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている	◎
身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣等、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	◎
食育の計画を作成して、日々の保育の中で子どもの「食育を営む」の育成に向け、その基礎を培わなければならないことを理解している	○
行事の種類や実施回数は適切に行われている	◎
行事のねらいを計画や実施に充分生かしている	◎
行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	○
子どもの健康管理を適切に行っている	◎
アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて医師からの指示を受け適切な対応を行っている	◎

### 3) 保育室の組織・役割分担

内 容	評 価
豊かな集団の育成を目指したクラス運営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	◎
保育に関わる様々な知識や技能の向上に努め、悩みや疑問を解決するため、研修に参加したり専門書を読むなどして自己研鑽を積んでいる	○
全職員は、施設内外の環境維持向上に努め、安全対策の共通理解や体制づくりに努めている	◎
職員間で常に報告・連絡・相談の体制が機能している	◎
火災・地震・不審者侵入・交通安全指導等の危機管理に努め、園内研修も実施する	◎
感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取り組みをおこなっている	◎

### 4) 家庭地域社会

内 容	
家庭との連携を図るように努めている	◎
関係機関と連携を図り、有効な対応に努めている	◎
地域や保護者の意見を施設運営に反映している	○
地域の未就園児への子育て支援を積極的におこなっている	◎
小学校との連携、就学を見通した計画に基づく保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	◎

## 5) プライバシー保護

内 容	評 価
子どものプライバシー保護についてのマニュアルが整備されている	◎
個人記録簿は、適切に保管し整理保管している	◎
職員は、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	◎
一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーをまもれるよう設備等の行いをおこなっている	◎

## 6) 財務管理

内 容	評 価
各種会計を適正かつ適切に処理している	◎
施設長・主任保育士・事務員の複数で確認をおこなっている	◎
法人の会計監査や監事監査を受けている	◎

## 7) 情報発信

内 容	評 価
園だより・クラスだより・食育だより・献立表：他必要なお便りは、各家庭にアプリ配信をしている	◎
感染症などの病気についても、すぐに状況を配信し予防に努めている	◎

## 総合所見

- ・ 登降園・保護者向けお便り・連絡帳・保育関係書類など昨年度からアプリを導入している。初めは職員も利用者も戸惑うこともあったが、対応もスムーズにできるようになってきた。アプリでの利用者アンケートの導入も、今年度から取り入れた。回答率が高くとても良かった。
- ・ 保育内容では、常に子どもの主体性を考えて取り組む保育を心がけ、保育士同志でも連携をとりながら行うように努めた。
- ・ 引き続き、子ども一人ひとりが楽しめるような環境づくりを心がけ、子どもとの温かいやりとりを意識しスキンシップやコミュニケーションを大事にしながら保育をしていきたい。
- ・ 外部研修や園内研修を充実させ、職員の専門性の向上につなげる。
- ・ 年間担当する職員の係、防災・食育・行事・衛生・子育て支援の話し合いの時間を充実させ、内容が全職員が共有できるように取り組んでいく。
- ・ 職員がより良い保育ができるように、職員の労働環境の整備にも引き続き取り組んでいく。

令和8年3月27日

上大岡ゆう保育園

## 令和7年度 職員自己評価(保育)結果

4:十分できている 3:ほぼできている 2:やや不十分である 1:不十分である

### 1 保育の理念・目標・計画・評価

	内 容	4	3	2	1
1	法人理念、園の保育目標、保育方針を理解し説明できる	12%	56%	32%	0%
2	計画は理念や保育目標、方針に基づき、こどもものの興味関心、これまでの生活や予想される生活等を考慮して作成している	24%	68%	8%	0%
3	計画や実践の振り返りを十分にを行い、改善や充実を図っている	32%	48%	20%	0%

注 の理念等、やや不安が残るが、昨年より意識してできたと思う。  
他の職員にもアドバイスをもらいながら、改善できるよう向き合うことができた。  
子どもひとりひとりの発達・成長に合わせて計画をたてた。

### 2 保育の内容

	内 容	4	3	2	1
1	こどもの主体性が尊重される保育の展開が出来る	20%	17%	3%	0%
2	こどもと温かなやりとりやスキンシップでコミュニケーションを図り信頼関係を築いている	52%	44%	4%	0%
3	禁止や命令の言葉を不必要に用いていない	32%	56%	12%	0%
4	身体的、精神的、情緒的発達等、多面的にこどもの状態を把握している	36%	52%	3%	0%
5	こどもの行動を不必要に急がせたり、自信を失わせるような態度はせず、安心感と自己肯定感を持てる言葉かけや対応をしている	16%	84%	0%	0%
6	安心して過ごせる安全で衛生的な環境を整えている	56%	44%	0%	0%
7	こどもたちがお互いに認め合い、尊重する心を育ていけるよう、人権や多様性に配慮した保育を心がけている	44%	56%	0%	0%

子どもが安心して過ごせる環境を整え、関われるように心がけた。  
子どもたちのペースに合わせ、活動出来るよう時間に余裕をもって過ごすようにしていった。  
日常の活動の流れや、危険がないかどうかということに気持ちが行き過ぎ、スキンシップが十分に取れていないこともあるので注意をする。  
子どもたちの主体性が少しでも尊重できるよう、何度も遊びの環境を変えていった。環境の大切さを実感した。  
人権や多様性にも配慮した保育を行っていききたい。  
感染症拡大防止のため、換気や消毒に努めていった。

### 3 組織・役割分担

	内 容	4	3	2	1
1	挨拶(こども、保護者、職員間)は笑顔で会った瞬間に自分からしている	80%	20%	0%	0%
2	上司や先輩、同僚からのアドバイスは素直に謙虚な姿勢で受け答えができています	52%	44%	4%	0%
3	伝達・報告を確実にし、情報の共有がしつかりできている	36%	6%	4%	0%
4	締め切りのある仕事や、会議や打ち合わせの時間を守っている	28%	68%	4%	0%
5	当番や役割による仕事を理解し、責任を持ってやり遂げようとする	64%	25%	8%	0%
6	業務がスムーズに行えるよう協力したり、助けあっている	56%	40%	4%	0%
7	クラスに関係なく、その場にいた職員が適切な言葉掛けや対応をしている	36%	56%	8%	0%
8	専門知識や技術を身に着ける努力をしている	24%	60%	16%	0%

毎日笑顔を忘れず、笑顔で挨拶するように心がけている。

職員間の考え方の違いもあって難しい部分もあったが、相手を認めながら自分の意見を言えるように心がけた。情報の共有がすぐに出来ず、一緒に組んで職員に迷惑をかけてしまった。

専門知識や専門用語も少しずつ変わっていく中で様々な情報を得ていかなければならないと反省する。

引き続き協力しながら、保育を行っていききたい。

### 4 家庭・地域

	内 容	4	3	2	1
1	保護者に対して丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけ、信頼関係を得る努力をしている	52%	44%	4%	0%
2	保護者からの様々な訴えや要望、意見は主任園長に相談して真摯に対応している	44%	44%	8%	4%
3	保育情勢や福祉サービスに関心を持ち、保育所が社会に貢献できることは何かを考え、実践できる	16%	60%	24%	0%

保護者の方に短い時間の中でも、子どもたちの園での様子や家庭での様子が聞けるよう意識した。

判断に困った時は、すぐに園長・主任に相談し、保護者に対しても丁寧な対応を心掛けた。

勝手な判断はせず、報告・相談をし対応を行ってきた。

保育情勢への関心をあまり持つことなく保育に携わってきたので、大きな視点を持てる余裕を作っていきたい。

引き続き、保護者との信頼関係を築いていきたい。

### 5 事務・管理

	内 容	4	3	2	1
1	必要な情報をわかりやすく記録できている	36%	56%	8%	0%
2	日誌や個人の記録や情報は、適切に記載し整理保管できている	32%	60%	8%	0%
3	園内で知り得た事柄に対して、守秘義務は徹底できている	72%	28%	0%	0%

第三者にも分かるような文を書くように心がけ、書いた文章を何度も読み返すようにしている。

園内での情報は外に出たら、漏らさないよう徹底している。

記録に関して、日々まとめ方を考えながら行っている。

ICT化になり、少しずつやり方を覚えている。情報の管理はルールを守って行っている。

○7年度、業務の中で頑張って取り組んだこと、その結果を具体的に挙げてください

様々なお子さんがいる中で、それぞれが楽しく過ごせる・居心地の良い空間にする為には、どうしたら良いかを試行錯誤していった。

今年度、手作りおもちゃや、保育室の環境を少しずつ考えてきた。手作りおもちゃは子どもの成長に合わせて展開できるようになり、遊びの幅が広がったように思う。

クラスリーダーとして、職員とのコミュニケーションをより取るようにし、保育の考え・思いを常に共有するようにしていった。

各クラスの職員状況を把握し、必要なクラスへ職員を配置出来るよう配慮していった。

環境設定などクラスで話し合い、子どもたちの遊びの工夫をしていった。

自分の出来ることを行ってきたが、周囲のひとたちの手助けがなければ出来なかった。

クラス的环境を何度も考え直し、子どもたちが自由に遊びを考えられるようにした。

○7年度自己評価を受け、8年度の目標を挙げてください

引き続き、子どもひとりひとりが楽しめるような環境づくりをしていきたい。

自らの言葉づかいを更に気を付けて、子どもとの温かなやりとりを意識し、スキンシップやコミュニケーションをしっかりと取っていきたい。

お互いを認めながら、寄り添いながら良いクラスづくりをしていきたい。

子ども達に合わせた保育を考えていきたい。

職員、皆が気持ちよく仕事ができるよう、連携を取り保育に臨んでいきたい。

子どもが快適に心地よい空間を作り、信頼関係が持てるようにしていきたい。

現状に満足せず、より良い保育を続けていくために、積極的に話し合える環境を作っていきたい。